

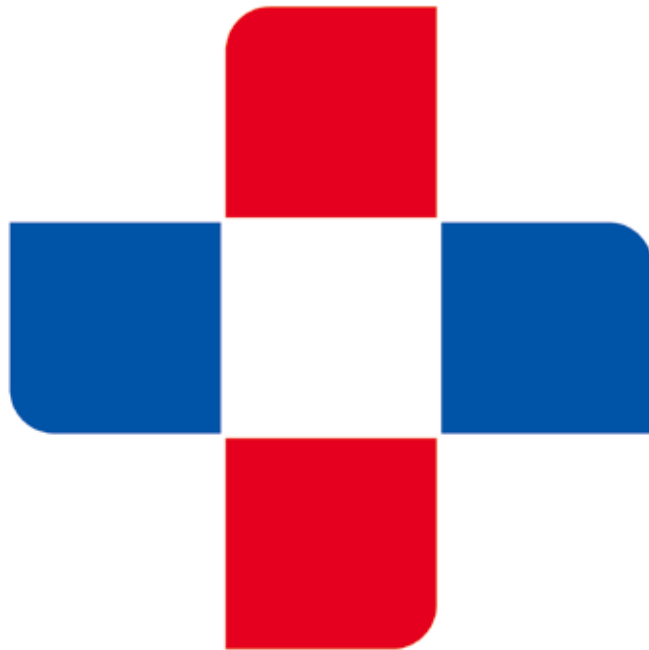
北里大学理学部同窓会報

2012年 第15号



23年度 総会集合写真

理学部同窓会ホームページ：<http://homepage1.nifty.com/kusaa>



一般財団法人 日本健康管理協会

健康診断と人間ドックの「^{にっ}^{けん}^{きょう}日健協」

平成24年1月1日より「東日本労働衛生センター」は「日本健康管理協会(日健協)」に名称が変わりました。



一般財団法人
日本健康管理協会

本 部	〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テプコビル3F	TEL:03-5250-0300
新宿健診プラザ	〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-31-12	TEL:03-3209-0211
東京支部	〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-31-11 第2モナミビル3F	TEL:03-5273-8201
北関東支部	〒372-0825 群馬県伊勢崎市戸谷塚町629-1	TEL:0270-32-7575
栃木事務所	〒328-0053 栃木県栃木市片柳町2-4-33 山本ビル2F	TEL:0282-20-1207
仙台事務所	〒980-0023 宮城県仙台市青葉区北目町2-22 今坂ビル4F	TEL:022-263-4470
山形健康管理センター	〒990-0813 山形県山形市松町4-8-30	TEL:023-681-7760

日本健康管理協会のホームページ <http://www.nikkenkyo.or.jp>

目 次

東日本大震災と北里大学、そして本会の近況……………	P 4
理学部、案外すごいです……………	P 5
岩橋槇夫教授 退任の挨拶……………	P 6
理学部教職員と同窓会役員との懇談会……………	P 7
就職ガイダンス……………	P 7
平成23年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 8
本会会員の福利厚生について……………	P 9
アコメイズ葬祭から本会会員のみなさまへ……………	P 10～11
活躍する同窓生……………	P 12
近況報告バトンタッチ『研究漂流記』……………	P 13
寄贈図書写真……………	P 13
同期会報告……………	P 14
集会援助手続……………	P 14
衛生学部石碑に同窓会が説明板を設置……………	P 15
旧一般教育部棟をデザインした「写真立て」について……………	P 15
理学部事務室より……………	P 16
平成24年度北里大学オープンキャンパス等日程……………	P 16
平成25年度理学部入学試験日程……………	P 17
北里大学就職センターからのお知らせ……………	P 17
年会費納入のお願い……………	P 18
同窓会からのお知らせとお願い……………	P 18
編集後記……………	P 18
第43回北里大学同窓会講演会演者プロフィール……………	P 19
第43回北里大学同窓会講演会ポスター……………	P 20



「東日本大震災と北里大学、そして本会の近況」

理学部同窓会会長 沼上 清彦

東日本大震災とこれに伴う原発事故により被災された皆さまには心からお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復旧、復興をお祈りする次第です。

北里大学では海洋生命科学部（岩手県大船渡市）2年生の女子学生が安否不明となり、命を落とされたと考えられています。なお、犠牲になられた卒業生あるいは被災された卒業生については現在のところ調査ができておりません。

以下に北里大学関連の被災状況と対応の概略を報告させていただきます。

1 被災状況

- ・海洋生命科学部学生在学生757名中不明者1名
- ・海洋生命科学部等教職員の全員無事を確認
- ・三陸キャンパス校舎自体は無事
- ・教職員住宅は被災
- ・釜石研究所は1階が浸水
- ・学生の居住地域は壊滅的被害

2 初期対応

- 3月11日 災害対策本部設置、衛星電話による災害対策始動
学生・教職員の安否確認
- 3月13日 物資輸送バス第一便派遣
- 3月14日 救援バス第一便派遣(大学医療チーム派遣)
- 3月15日 救援バス第二便派遣
- 3月16日 教職員現地輸送バス派遣
- 3月17日 救援バス第三便派遣
- 3月18日 大学病院・東病院医療支援チーム第一陣派遣
学位授与式の中止決定
- 3月19日 次年度海洋生命科学部・大学院の授業運営の基本方針決定
- 3月20日 大学病院・東病院医療支援チーム第二陣派遣
- 3月22日 大学病院・東病院医療支援チーム第三陣派遣
- 3月23日 救援バス第四便派遣
- 3月24日 大学病院・東病院医療支援チーム第四陣派遣
- 3月25日 救援バス第五便派遣
入学式中止決定

3 海洋生命科学部等に関する対応

- ①授業は少なくとも平成27年度までは相模原キャンパスで行う。
- ②海洋生命科学部校舎（MB号館）を建設する。
 - ・規模 鉄筋コンクリート地上5階建
 - ・延床面積 9,519.6㎡
 - ・費用 20.37億円
 - ・場所 S号館駐車場
 - ・工期 H23.9～H24.7
- ③相模原に住居を移転するための費用を支援する。その他の被災支援は中越地震（H16）時と同様の扱い

とする。

- ④釜石研究所は廃止の方向とする。

4 海洋生命科学部学生への支援

- ①災害見舞金10万円
- ②移転に係る費用全額支援
- ③住宅賃借料差額支援1万円/月（最短の残修業年限内）

5 全学部の被災学生への支援

- ①災害見舞金10万円
- ②奨学金の給付10万円/月を6か月支給
- ③学費の免除（平成23年度学費の全額または半額）
- ④学費の貸与（1種から3種）

このように大学は震災発生当日に災害対策本部を設置し、衛星電話を使って状況の把握に努め、現地に救護チームを送るとともに、現地にいた海洋生命科学部の学生、教職員全員を救援バスをチャーターして東京に移動させるという実面的な対応を迅速にとられました。

なお、新入生の被災学生に対して北里大学同窓会は会費等の減免措置を講じ、かつ北里大学被災義援募金に2千万円、海洋生命科学部に1千万円を寄附しています。本会は平成22年度内に10万円を、平成23年度に100万円を北里大学被災義援募金に寄附したことを申し添えます。

さて、会員数6,383人の正会員を有する本会は会員間の親睦を図り、理学部や大学の発展に寄与することを目的に、従前からの事業を継続しながら基盤整備に努め、理学部への協力姿勢を推進することをここ数年の活動方針としています。

その理学部は、昨年度学部長はじめ全学科長が一新されましたが、役員諸氏や事務局員の努力により、学部教職員との懇談会や就職ガイダンスや卒業研究功労賞、物品や図書の寄贈などの諸事業を通じて非常に良好な関係が構築されていると考えています。

近年は魅力ある同窓会にするにはどうしたらよいか、という古くて新しいテーマに取り組んでおり、まずは会員還元事業の充実を図ることを目指して努力しているところです。直接的な会員還元事業ではないのですが、本年度は平成24年2月26日（日）に小田急ホテルセンチュリー相模大野で第43回北里大学同窓会講演会を開催します。これまで本会は、医療・医学に関する講演を多く開催してきましたが、今回はJAXA（独立行政法人宇宙航空研究開発機構）の協力を得て宇宙をテーマとする初めての講演会を企画しました。詳細はホームページ（<http://homepage1.nifty.com/kusaa/>）によりお知らせしますので、是非とも多くの会員の皆さまにご来臨賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆さまの一層のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。



理学部、案外すごいです

反応機構学講座教授 丑田 公規

このほど、理学部反応機構学講座の教授として着任いたしました丑田（うしだ）と申します。同窓会員の皆様には今後いろいろお世話になることと存知ますが、よろしく願いいたします。

前職は理化学研究所（理研）で、エチゼンクラゲからの物質採取で少し有名になったので、サイエンスゼロやワールドビジネスサテライトなどのTV番組で私をご覧になった方もおられるでしょう。しかし、今でも研究分野は大石先生と同じように、光化学、放射線化学で、レーザーを使った装置作りを得意にしているつもりです。最近では蛍光相関分光という測定方法で、細胞外マトリックス物質中の物質移動を研究し、異常拡散（Anomalous Diffusion）という物理学上大変重要な不均一拡散現象を実験的に観察することに成功しました。ですから、物理、化学、生物の間を行ったり来たりしていることになります。

理研には20年勤めましたが、縁あって古くから衛生学部化学科、理学部化学科の4年生の方を外研究生としてお世話した経緯があります。直接担当でなかった人を含めると、10名強の同窓生の皆さんを、存じておりますが、そのような方は、今回私の名前をご覧になってあっと声を上げられたかも知れません。

さて、私自身理学部化学科出身で、今回同じ学部と同じ学科に奉職したことについて少し思うところがあります。

企業の研究所のリーダー格に残る方には、経験上、理学部の方が多く思います。ただし、多くの方は、4年卒にしても、院卒にしても、大学時代の専門とは余り関係のない分野に取り組んで、それでもなお成功しているケースが多いのです。

理学部は基礎を重視しますが、同時に自分ひとりで物事を調べ上げ、展開していく訓練を重んじます。図書館に行ってもいいでしょうし、ネットサーフをしても構いませんが、実験実習や演習の

時に、人に言われるままにぼんやりと行動せず、ともかく自発的に何かを調べに行き、自分なりの答えを見つけていく訓練が、理学部教育にとって最も重要なことだろうと思っています。

研究職でも技術職でも企画職でも、現代の企業で取り組む課題は、展開が速く、1年2年先が全く見えないものです。何かを見つけ出す、ライバル会社の製品を検討する、外国の提携先から技術導入するなど、あるテーマを任された個人が、少し専門外のことも、自分の立ち位置を素早く把握し、必要なことを調べ上げ、速やかに取り組みはじめることができるのが理想です。企業では、必ず一人の人間に人件費コストが発生しますから、たとえば不正確でも要領よく3か月で答えを出す人が重宝されます。それは残りの9か月で、その人材をまた別のテーマに充当して有効活用することができるからです。

私の理学部化学科の同級生にCD-Rを太陽誘電（株）で発明した浜田恵美子氏（現名工大教授）が居ますが、彼女は大手の電気会社がグループで取り組んでできなかったことを、たった一人で、しかも短期間にやりとげてしまいました。本人によると、最初にデータブックで薄膜の反射率を調べ、金蒸着膜しか使えないと判断したことが成功の鍵だったそうです。他社では高価な金蒸着を使うと上司の許可が下りなかったかも知れませんが、自ら調べたことに確固たる自信を持って取り組まれたことが成功につながったのです。青色ダイオードの中村修二先生も、自ら装置を作り上げ実験も一人でやるなど、同じような研究の取り組みだったと記憶しています。化学、物理学、生物学だけでなく、経済や金融や経営に進んでも調べ物名人（そして判断と決断が自分でできる人）が重要な企業人となるのでしょうか。

理学部、案外すごいです。このように世の中で受け入れられるようになればと考えています。



退任の挨拶

北里大学名誉教授 岩橋 楨夫

15年間勤めていた東京都立大学（首都大学東京）の理学部から、昭和60年9月に北里大学衛生学部化学科の講師として移り、その後、平成5年1月から同助教授、平成6年3月には同教授、さらに同年4月衛生学部が改組により誕生した理学部教授となり、大震災はありましたが本年3月、無事に定年退職し、4月には名誉教授の称号を受けることが出来ました。その間、北里大学には25年と7か月間お世話になりました。また、北里大学では講師・助教授時代に「村松三男先生」と「小林宏先生」というお二人の素晴らしい先生方を上司として頂くことができ、研究面だけでなく、さまざまなものの本質の見方などを教授して頂きました。たとえば、村松先生には研究の進め方、論文の書き方、上に立つ者のあり方を徹底的に指導され、また、小林先生には、学問の深さ、面白さを教えていただきました。凡庸な私ですが、衛生学部化学科「物理化学教室」として85名、理学部化学科「分子構造学講座」として353名の学生を世に送り出せ、学生たちに自信をもって教育していったのもこれら先輩の先生方のおかげと思っています。卒業生たちは皆頑張って世の中で活躍してくれています。

研究生活では、都立大時代は主に「水面上脂質単分子膜」のラジオトレーサー法を用いた研究を行い、29才の4月に「Radiotracer Studies on the Properties of Interfacial Films」というタイトルで理学博士の学位を頂きました。その後は、都立大の学生の他に、外研究生として来ていた北里大の学生の卒業研究を指導し、全ての学生を論文に共同研究者として載せることが出来ました。その後、33才の10月から1年半、米国NY州PotsdamにあるClarkson大学に博士研究員として家内と小学校1年の息子、幼稚園児の娘をつれて留学し、B.A. Pethica先生（現在83才でPrinceton大学の現役教授）の下で、「非常に低い表面圧力の測定と、水面上の脂肪酸結晶の示す平衡拡張圧力（ESP）に対する結晶サイズ効果の研究」を行いました。生きた熱力学を教えていただくと同時にトップの立場にある英国人の確固たる紳士道をしっかりと学ばせていただきました。

帰国後の研究の中でも力を入れたのは、東大の原子核研究所、東工大、東北大と共同でおこなった「トリチウム標識脂肪酸塩LB膜によるニュートリノの質量測定」でした。つい先ごろ、「ニュートリノの速度が光の速度を超えている」という研究結果が発表され、世界中の話題になりましたが、我々の研究はトリチウム標識脂肪酸塩LB膜を β 線源とし、ニュートリノの質量を測定して、ビッグバン以来膨張を続けている宇宙がいつか収縮をは

じめるのか、あるいは、膨張しっぱなしになるのかを知ろうとした研究でした。新しい線源の開発、測定装置の開発などを行い、最終的には質量の上限が分かりましたが、下限は、まだ、未知のまま残されております。したがって、宇宙がいつ収縮するのかはまだ明らかではありませんが、我々と同時期に、同じ原子核研究所に所属されていた小柴先生のグループが超新星爆発からのニュートリノを観測され、ノーベル物理学賞を受賞されました。

北里大学に移ったときには小さな控室があるだけで、実験室はなく、実験装置もない状態で、これまでやってきた研究は続けられないと悟り、鎖長の異なる n -アルコールの粘度を実習室にあった粘度計で、密度を自作の密度計で測定し、都立大の加藤直先生が岡崎の分子研に行かれる時に、自己拡散係数を測定していただきました。それらの実験結果を組み合わせた論文を着任1年半で欧文誌に掲載でき、「何もなくても研究は出来る」という自信ができました。また、脂肪酸や高級アルコールのような脂質の液体構造や動的分子構造に興味を抱くようになり、研究テーマもこれまでのラジオアイソトープを用いた界面化学から離れ、脂質の溶液や液体の構造の分野に入りました。環境が変わることはひとつの飛躍につながると思います。

脂質は食品、化粧品、医薬品等色々な分野で利用されていますが、結晶構造やサイズ、配向性が製品の滑らかさ、感触、食感等をきめます。その結晶構造を研究するにあたって、そのもととなる液体中の分子の挙動を知る必要があります。しかし、「液体は等方的である」という暗黙のイメージと、また、ひとつの実験手段では液体の真の構造を決めることが難しく、さまざまな測定手段を組み合わせることで、はじめて真の姿が見えてくること、また、高純度の試料が大量に必要なことから、ほとんど研究されていない分野でした。

学会活動で多くの方々と友人になり、その交友関係を通じて高純度の脂質試料も企業から無償で供給して頂きました。脂質の液体構造は必要にも関わらず世界中でほとんど研究されていませんでしたので、競争で研究する必要はなく、自分が研究すれば常に世界で初めての報告となり、2005年にはこれまでの研究に対して日本油化学会の学会賞をいただきました。

これまでやってこられたのは松沢、南、笠原、片山、山口、高野さん等多くの先生方や友人達の支えと、粘り強い熱心な学生さんたちのおかげです。深く感謝して、この挨拶を終えようと思います。

大石茂郎前学部長は学校法人北里研究所の常任理事としてご活躍中のため、退任の挨拶は次号に掲載予定です。



理学部教職員と同窓会役員との懇談会



7月23日(土)に「平成23年度理学部教職員と同窓会役員との懇談会」が開催されました。理学部から、花岡学部長(分子発生物学講座教授)、十河物理学科長(非線形物理学講座教授)、真崎化学科長(分子機能化学講座教授)、高松生物科学科長(生物情報科学講座教授)、吉國就職指導委員長(物理学科、フォトンクス講座教授)が、事務室からは、寺本事務長、田中課長補佐、花田係長と林主任が出席されました。同窓会からは、沼上会長を含めた役員13名が出席しました。

当日は北里大学進学相談会の「第1回オープンキャンパス」が相模原キャンパスにて開催され、理学部の体験入学も同時開催された忙しい中出席頂きました。

沼上会長の開会挨拶後、花岡学部長から学部の近況報告を、十河、真崎、高松各学科長から各学科の状況や本日のオープンキャンパスのことなどを、吉國就職指導委員長からは就職状況に関して、それぞれ説明がありまし

た。寺本事務長からは本会の活動(パソコン2台と新刊本67冊を図書館に寄贈)について謝辞がありました。

同窓会からは、沼上会長が今期についての説明と会報発行に伴う学部パンフレット同封についての要請に対して、例年通り提供いただけるとの回答がありました。続いて、千葉事業担当副会長から本会担当の同窓会講演会[平成24年2月26日(日)、小田急ホテルセンチュリー相模大野8階にて開催]を中心に平成23年度事業計画の概略説明を、また10月22日(土)開催の学部との共催である就職ガイダンスについて、甲斐就職ガイダンス担当理事から進捗状況の説明が行われました。さらに林主任から当日の実施要領に於ける説明がありました。

その後、種々のテーマについての意見交換を行った後、学部の先生方や事務室の方々と各役員と個別に話しが進み、今年の懇談会も和やかに活発な意見交換が行われましたことを報告します。

就職ガイダンス

平成23年10月22日(土)、L1号館41講義室において、理学部3年生を対象とした就職ガイダンスが開催され、講演と模擬面接が行われました。

・主講演「企業が採用したい学生とは」

ライオン株式会社

生活者行動研究所主任研究員 山縣義文氏 (HC17)

・ミニレクチャー

株式会社シミックエムピーエスエス

教育研修事業部マネージャー 藤田嘉一氏 (HC17)

GRIトレーニング&コンサルティング株式会社

代表取締役 松下純也氏

・模擬面接

株式会社シミックエムピーエスエス

教育研修事業部副部長 菊岡幸三氏

株式会社シミックエムピーエスエス

教育研修事業部マネージャー 原 輝享氏

『模擬面接を終えて』

理学部化学科 五月女 佳蓉

私は今回の就職ガイダンスで株式会社シミックエムピーエスエスの模擬面接に受験者役として参加させてもらい、とても貴重な経験をする事ができました。

今年からエントリー開始が12月1日からと遅くなったことで、就職活動に対してどこか『まだいいかな…』と思っている所がありました。しかし、今回の模擬面接を通して良い意味で就職活動に対して焦りを感じる事ができました。初めてエントリーシートを書き、就職センターの方に添削をしてもらい、実際に企業の役員の方々に面接をして頂き、自己分析の甘さや企業研

究の大切さ、実際の面接の雰囲気を感じる事ができて本当によかったと思っています。

また、模擬面接の講評で頂いたアドバイスは何よりも私自信ためになりました。

この経験を通して私の就職活動へのスイッチが入ったと思っています。

今回の模擬面接は誰もが経験できることではないので、この機会を頂けたことを本当に光栄に思います。

最後に今回の模擬面接に携わった全ての方々、本当に貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。





平成23年度理学部同窓会定期総会報告



平成23年5月21日(土)、平成23年度理学部同窓会定期総会が相模原キャンパス 理学部S号館3階セミナー室において、下記のとおり行われましたので、ご報告申し上げます。本会では、北里大学による「東北地方太平洋沖地震 北里大学被災義援募金」に予備費から寄附を行い、今年度も寄附を行いました(本会ホームページ=HPの会長挨拶にあります)。海洋生命科学部校舎は理学部の駐車場に9月着工、来年7月に完成予定です。なお、詳しい総会資料、写真ならびに最新の同窓会情報などはHP (<http://homepagel.nifty.com/kusaa/index.html>) に提供しています。

出席者:44名(第1号議案の3名、第2号議案の1名を含む):岡本義久、長原勝彦(1HC)、坂口洋(2HC)、山岡輝昭、竹澤美男(4HC)、中野勝雄(5HC)、沼上清彦(6HC)、麻生綱男(8HC)、國香清、蓮沼良一(11HC)、藤本玲子、間島勝徳、島崎道弘、氏家重夫(12HC)、内田宏(14HC)、須貝昭彦、立松佐吉(18HC)、八井田文子(19HC)、甲斐恒人(20HC)、竹尾文彦(26HC)、木村武俊(1HB)、千葉貴子、佐藤康之(28HC)、前川敏郎(4HB)、村上裕章(31HC)、細江裕子(5HB)、井村幸介(6HB)、酒井利奈、桑原美保子(1SP)、中野章代(3SC)、藤井祐介(4SC)、田村啓(4SB)、大滝正訓(7SP)、松本俊英(8SP)、荒木恒平(9SC)、齋藤昂良(10SB)、小林宣文(11SP)、奥田悠介(12SP)、石毛達也(12SB)、高嵩美文(13SP)、厚木将志(13SC)、上村和豊(13SB)、神田章宏(14SC)、新山勇人[代理人:日比野圭祐(14SB)]

委任状提出者:31名:櫻井典子、加藤武彦(2HC)、西尾公男(3HC)、伊藤正善(6HC)、石原裕三(7HC)、石水和夫(10HC)、衣川佳美(13HC)、根岸恵一(14HC)、伏見尚登(16HC)、山田淳(17HC)、山下宣行(23HC)、小笠原正勝(25HC)、櫛部一彦(26HC)、長谷部浩司(27HC)、坂内健志(2HB)、嶋宮民安(3HB)、秋本護、矢口晶(4HB)、吉瀬晴子(1SB)、江島史緒(2SB)、矢野太一(3SC)、小林麻衣(4SP)、福島唯実(4SC)、田辺由美子(5SC)、三浦慎一郎(5SB)、國廣喜央司(6SP)、佐々木千明(6SB)、富澤良弘(10SC)、石村早紀(11SB)、上村勇介(12SC)、保住厚兵(14SP)

欠席者:30名:飯塚幹夫(9HC)、森孝之(14HC)、神山信(15HC)、飯島宏(20HC)、根岸達也(21HC)、小竹保(22HC)、北村光宏(23HC)、寺澤恒(24HC)、伊藤昌史(1HB)、有馬英司(29HC)、倉持佳弘(30HC)、福山勝也(31HC)、吉野典利(32HC)、中條総子(1SC)、渡辺良一(2SP)、河合匡(2SC)、横山重成(3SP)、小林琢也(3SB)、市川真紀子(4SB)、大西新(5SP)、金子恵美(6SC)、武者孔佑(7SP)、石原康之(7SC)、宮崎大一(7SB)、鈴木健太郎(8SC)、森口友敬(8SB)、持田和史(9SP)、岡田絵真(9SB)、西牧規之(10SP)、青池七菜(11SC):<第2号議案終了後、総会構成員数は105名>

1. 開会の挨拶

司会の村上理事(31HC)から、規約第15条第2項より、総会構成員数102名に対して1/3(34名)以上の出席があり、総会が成立することが報告され、開会を宣言した。

2. 議長団の選出

議長に氏家代議員(12HC)、副議長に木村理事(1HB)、書記に藤本理事(12HC)、酒井理事(1SP)、議事録署名人に間島理事(12HC)、高嵩代議員(13SP)が全会一致で承認された。

3. 沼上同窓会会長挨拶

沼上会長(6HC)から、日頃の同窓会活動の理解と協力に感謝の言葉があり、東日本大震災による被災者の方々にたいするお悔やみとお見舞いに続き「理学部同窓会の現況と今後」について、北里大学、理学部および理学部同窓会の現況説明と任期3年の最終年度を迎えたことに対する抱負が述べられた。

4. 報告および決議事項

★報告事項

1) 平成22年度事業報告および平成22年度収支決算報告の件

千葉事業担当副会長(28HC)から平成22年度事業報告、須貝財務担当副会長(18HC)から平成22年度収支決算書に沿ってそれぞれ報告した。

2) 監査報告の件

坂口監事(2HC)から、平成22年度の会計および事業執行について監査をした結果、正確かつ妥当であったと報告があった。

特に質疑が無く、平成21年度の事業、決算および監査報告が全会一致で承認された。

★決議事項

第1号議案 代議員3名選出の件

上会長から、保住厚兵氏(14SP)、神田章宏氏(14SC)および新山勇人氏(14SB)の新代議員の提案があり、選任され、出席した新代議員の挨拶が行われた。

第2号議案 代議員交代(1SP)の件

沼上会長から、物理学科1期土屋朋子代議員の交代として桑原美保子氏の提案があり、選任され、桑原氏から挨拶が行われた。

第3号議案 平成23年度事業計画案および第4号議案 平成23年度収支予算案の件

千葉事業担当副会長から平成23年度事業計画案、また須貝財務担当副会長から平成23年度収支予算案に沿ってそれぞれ提案説明が行われた。

質疑応答後、全会一致で平成23年度事業計画案および収支予算案が承認された。

平成23年度事業計画

- 1 会報の発行
同窓会報第15号(通算41号)を平成24年1月に発行する。
- 2 学部教職員との懇談会の開催
学部教職員との懇談会を平成23年7月23日(土)に開催する。
- 3 会員集会援助の継続
同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一主旨の会への援助は年1回までとする。
- 4 ホームページの更新
新しい情報を会員へ提供するため、ホームページをリアルタイムに更新する。
- 5 会員情報の管理
本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を新システムにより管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。
- 6 第17回就職ガイダンスの開催(理学部との共催)
平成23年10月22日(土)に理学部3年生を対象とした

就職ガイダンスを理学部と共催する。

- 7 北里大学同窓会講演会の開催
第43回北里大学同窓会講演会（本会担当）を開催する。
日 時：平成24年2月26日（日）
会 場：小田急ホテルセンチュリー 相模大野8階
テーマ および 講師：調整中
〔現況：これまで本会は主に医療をテーマに講演会を開催してきました。幸いにも相模原には宇宙航空研究開発機構（JAXA）の宇宙科学研究所があるため、今回は「宇宙」をテーマに取り上げたく準備を進めています。詳細が決定次第、全学同窓会HPおよび本会HPに掲載すると共に、全学同窓会会報（9月発行）に掲載する予定です。〕
- 8 学部への寄贈
10万円相当の学生（準会員）利用図書を学部図書館へ寄贈する。
- 9 第6回「卒業研究功労賞」の表彰
卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。
- 10 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）
卒業記念パーティーに祝い金を持参する。
- 11 東北地方太平洋沖地震 北里大学被災義援募金への協力
昨年度に続き「東北地方太平洋沖地震 北里大学被災義援募金」に寄附をする。
- 12 会員還元事業の具現化
本会会員の福利厚生を目的に「シエル倶楽部」の団体会員になるため、株式会社アコメイズ葬祭と契約を締結するとともに新たな会員還元事業を検討する。

平成23年度予算

<収 入>

費 目	(1)平成23年度予算	(2)平成22年度予算	増減 [(1)-(2)]
学部還元金	4,590,000	4,395,000	195,000
年会費	380,000	360,000	20,000
会報補助金	320,000	307,000	13,000
利 子	5,000	10,000	-5,000
前期事業資金	0	250,000	-250,000
積立金戻入	1,000,000	200,000	800,000
繰越金	846,768	613,150	233,618
合 計	7,141,768	6,135,150	1,006,618

<支 出>

分類	費 目	(1)平成23年度予算	(2)平成22年度予算	増減 [(1)-(2)]
運営費	会 議 費	1,450,000	1,150,000	300,000
	事 務 局 費	1,510,000	1,560,000	-50,000
	渉 外 経 費	200,000	250,000	-50,000
事業費	集 会 援 助	200,000	200,000	0
	会 報	1,250,000	1,200,000	50,000
	就職ガイダンス	300,000	300,000	0
	教職員との懇談会	250,000	250,000	0
	学部への寄贈品	100,000	600,000	-500,000
	講演会協力費	100,000	100,000	0
	卒業研究功労賞	200,000	200,000	0
	ホームページ	40,000	40,000	0
	カミングホーム	0	0	0
	準会員支援	130,000	130,000	0
	災害義援金	1,000,000	0	1,000,000
積立金	0	0	0	
次年度事業資金	250,000	0	250,000	
予備費	161,768	155,150	6,618	
合 計	7,141,768	6,135,150	1,006,618	

主な質疑

- Q 小林代議員（11SP）：広報のためにツイッターの活用や就職ガイダンスに於いて卒業後の転職や起業のアドバイスが欲しい。
- Q 奥田代議員（12SP）：時代背景を鑑みて、就職ガイダンスに割り当てる予算を増やすべきでは。
- Q 國香代議員（11HC）：「シエル倶楽部」の件は決議事項ではなく、報告事項ではないか。

上記の質疑に沼上会長から応答があった後議案提案が他に無く、氏家議長から決議事項を終了した。

5. 議長団の解任および閉会の辞

村上理事から、議事の終了が宣言され、議長団が解任された後、閉会を宣言した。

総会后、出席頂いた花岡学部長、真崎化学科長、高松生物学科長および寺本事務長からそれぞれ学部や各学科などの近況説明を頂きました。その後、大学病院新棟8階フォレストにて懇親会を開催。吉國就職指導委員長の出席が有り、物理学科と就職に関する近況説明が行われ、甲斐理事の司会で和やかに先生方や代議員と有意義な歓談が行われました。今年の総会出席率は72%と昨年を大きく超えました。平成24年度定期総会は5月20日（日）に開催し、場所は新宿のホテルなどを検討中です。来年度も宜しくお願いします（総務担当記）。

本会会員の福利厚生について アコメイズ葬祭との団体会員の締結について

この度、本会では定期総会での承認を得て、本会会員の福利厚生を目的に「シエル倶楽部」（株式会社アコメイズ葬祭）との間で団体会員契約を締結いたしました。会員の皆さまにおかれましては、アコメイズ葬祭へ直接ご連絡いただき、本会会員であることを申し出ただけであれば葬祭プランの割引などさまざまな特典をご利用いただけます。また、全国48ヶ所のKKR直営ホテル&旅館をご優待価格で

ご利用いただくこともできます。なお、株式会社アコメイズ葬祭に対して本会会員の個人情報を提供することはございませんので、個人の責任のもとご活用くださいますようお願い申し上げます。

詳細はアコメイズ葬祭ホームページ（<http://www.acommeaide-sousai.com>）でご確認ください。次頁にも広告を掲載しております。

北里大学理学部同窓会会員の皆様へ

お葬儀に大切なものはなんですか？
私たちは、みなさまの「安心」と「信頼」を
大切にしたいと考えています。



ご挨拶

株式会社アコメイズ葬祭 代表取締役 中尾 雅

このたびは当社と特別契約の締結を快くご承諾いただきまして、感謝にたえません。誠にありがとうございました。今後は貴会の力となり、会員様方のお役に立てるよう大いに努力させていただく所でございます。なにとぞ、末永いご愛顧を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。誌面をお借りしましてお礼申し上げます。



ご葬儀の事前相談からご葬儀の施行、
アフターサービスまで、トータルサービスで
事業展開をしています。

会社概要

●会社名	株式会社アコメイズ葬祭	●事業内容	①葬儀施行(個人葬・密葬・社葬)に関する一切の業務
●設立	2001年(平成13年)4月	②花輪・生花・盛籠・など供花物一式	③霊柩自動車運送業務
●代表取締役	中尾 雅	④仏壇・仏具・寝具・装具・各販売のご紹介	⑤僧侶・神官のご紹介
●資本金	1,500万円	⑥役所手続き代行	⑦その他御葬儀付帯品一切の取り扱い
●所在地	〒153-0043 東京都目黒区東山1-15-8 東山ISビル TEL.03-5794-9556(代) FAX.03-5794-9557		

皆様の「信頼」に応える全国葬祭ネットワーク。



当社では、北海道から沖縄までを8エリアに分け、それぞれのエリアを代表する大手葬儀社と特約契約を結んでいます。更に、それぞれの大手葬儀社の下には、各県ごとに信頼できる2百数社の葬儀社とのネットワークで全国の葬儀社を紹介いたします。

"もしも..."の時、葬祭コールセンターにお電話いただければ、お客様のご要望をお聞きした上で、直ちに最寄の特約葬祭業者に連絡し、敏速に対応いたします。

安心と信頼のKKR特約 アコメイズ葬祭

アコメイズ葬祭は、全国統一コールセンターの受付窓口であると同時に、関東で唯一、国家公務員共済組合連合会のブロック店(関東エリアの代表葬儀社)にも認定されています。



■アコメイズ葬祭 葬祭コールセンター

365日 24時間
いつでも対応いたします。



クイック ココロ
0120-919-556

※お電話の際、北里大学理学部同窓会会員の旨、必ずお伝えください。

あらゆるお葬儀に対応。特別割引にてご提供いたします。

アコメイズ葬祭では、ご遺族様と故人様の思いにお応えするため、火葬式、一日葬、家族葬、一般葬から社葬すべてのお葬儀に対応しております。

また、ご逝去からご遺骨の安置まできめ細かく配慮した「基本サービスセットプラン」をご用意し、北里大学理学部同窓会会員様のために、特別割引にてご提供させていただきます。

「基本サービスセットプラン」に含まれるサービス

●祭壇(白木・生花) ●棺一式 ●仏衣一式 ●枕飾り一式 ●遺影写真
●通夜・葬儀司式進行 ●会葬礼状 ●ドライアイス(※1回分) ●生花装飾(受付・焼香) ●枕花 ●後飾り祭壇 ●運営奉仕員(※1名) ●各種申請書類手続き代行 ●搬送費(※ご移動距離1回10km以内)

※数量はプランによって異なります。

※式場費、通夜振る舞い・精進落とし他飲食代、火葬費、骨壺代、返礼品、霊柩車・マイクバス等の車両費、車両・式場・火葬場人員への心付け、付帯設備費用などは「基本サービスセットプラン」には含まれないプランもあります。ご必要の場合は別途費用が発生いたします。詳細につきましては、担当者へお問い合わせください。

お葬儀のいろいろ

「火葬式」=一般的な通夜～葬儀、告別式を行わず、火葬のみで故人をお送りするお葬儀。

「一日葬」=儀式と会葬者へのおもてなしを1日で執り行う葬儀。

「家族儀」=お顔のわかる範囲の近い方だけで故人様をお送りする葬儀。



25%
OFF

基本サービスセットプラン+ 白木祭壇

昔ながらの葬儀の雰囲気。
格式ある祭壇です。

規模やご予算などに応じ各種プランをご用意しております。費用等詳細につきましてはお問い合わせください。



25%
OFF

基本サービスセットプラン+ 生花祭壇

季節の彩りのある祭壇で
故人様を送ります。

規模やご予算などに応じ各種プランをご用意しております。費用等詳細につきましてはお問い合わせください。

※25%特別割引につきましては、当社へお葬儀を依頼された場合に限りさせていただきます。全国葬祭ネットワークのサービスより紹介した葬儀社へご依頼された場合は、各葬儀社の割引率が適用されます。詳しい割引率につきましては、各葬儀社へお問い合わせください。

24時間・365日 ご相談承ります。

- もしもの時のお迎え
- 寝台車お手配
- 葬儀式場ご相談
- 遺品整理・お焚き上げご相談
- 香典返し品ご相談
- 仏壇・仏具ご相談
- 墓地・墓石ご相談
- 法要・仏事ご相談
- 僧侶・神官ご紹介
- 遺言・遺産整理ご相談 他



お花 生花・花輪、枕花 法要花、祝花 他 **全国発送します** **送料無料**

北里大学理学部同窓会 会員様 **限定** 全国一律 **10%割引**

お申し込みは、FAXでお送りください。(緊急の場合は電話でもかまいません)

FAX.03-5794-9557 TEL.0120-919-556

活躍する同窓生

ドーピングとの戦い

財団法人日本分析センター
アンチドーピング研究所所長
11HC 植木 眞琴



私が卒業した'76年ごろ、薬物や化学物質を用いて競技能力を高めるドーピングは国内ではほとんど認知されていませんでしたが、'85年に神戸市での開催が決定していた大学生スポーツの祭典ユニバーシアードではドーピング検査の実施が条件となっていました。当時アジアにはドーピング検査を実施できる機関がなく、大会に向けて検査所を立ち上げる必要に迫られたのですが、ヨーロッパ、アメリカ、ソビエト、東ドイツにあった計17の検査所は大学研究機関や政府委託を受けた公的研究所だったのに対して、スポーツ大会の多くが日曜祭日の午後開催され夜間主体の検査となるために、日本では公的機関の検査請負先がなく、まずは民間組織で担当することになりました。

ドーピング検査というと単なる薬物検査と思われがちですが、対象物質の多くは体内で代謝物されてしまうので、薬物服用者の試料の分析を通じてドーピング判定の指標となる代謝物を特定しなければならないのです。当時は対象薬物数が少なかったこともあり、なんとか大会の検査を無事完了することができました。

しかし、'84年のロサンゼルスオリンピックは、その後の研究活動を大きく左右する大会となりました。ロス五輪の男子バレーボール競技で日本選手の一人がドーピングで失格処分になったのですが、選手は一貫してドーピングを否定したため、帰国後徹底した調査が行われ、テストステロンドーピングの指標である異性体比が正常の10倍以上を示す特異体質であることが立証されたのです。残念ながら、選手はオリンピック前に検査を受けていなかったのが大会時にドーピングを行っていなかったことの証明にはならない、という理由で判定は覆りませんでした。この時から日本スポーツ界は、トレーニング時の検査データを持つておくこと、天然型のドーピング物質については、それが体内で分泌されたものであるか、医薬品の使用によるものであるかを識別できる検査を開発することの重要性を認識するに至りました。以後自分の研究は、判定が難しい天然型ホルモンのドーピングに焦点を絞って行うことになったのです。

そのような物質として、当時まだ判定方法が確立していなかった5 α -ジヒドロテストステロン (5 α -DHT)、デヒドロエピアンドロステロン (DHEA)、ヒト成長ホルモン (hGH) などに注目し研究を行ってきました。

その成果が最初に実ったのは94年の広島アジア大会で、当時わずか2-3年の間に世界のトップを独占するまでに成長した中国競泳陣に世界中からドーピングの疑惑が懸けられていたのですが、海外で実施された検査はいずれも陰性でした。しかし日本が提案した5 α -ステロイドと5 β -ステロイドの比率に焦点を絞って判定する方法によって11選手23の競技記録に関わる検査で5 α -DHTのドーピングが立証され、以後この判定法が国際規定に採用されました。この方法では測定値を統計的に評価しなければならず、改良の余地が残されていたので、'98年の長野オリンピックでは、当時地質学で古気候の研究や地球温暖化の解析に使われていた安定同位体比分析法に着目し、動物性脂肪の重い (^{13}C 含量の多い) 炭素源からなるヒト体内男性ステロイドと、炭酸同化作用によって大気中の揮発性 (^{13}C 含量の少ない) 炭酸ガスからつくられた植物性ステロイドを原料とする合成医薬品ステロイドの同位体比分析を行い、化学構造が全く同じ体内ホルモンと医薬品ホルモンの由来識別に利用しました。この手法をドーピング検査に適用したのはオリンピックでは長野大会が最初で、自分の学位の主論文でもありますが、今では、安定同位体比測定法は、遺伝子検査では区別できないブランド米の産地識別などにも使われる一般的な由来識別手法の一つです。

このように、スポーツではヒト体内にもともと存在し、検出しただけでは違反と立証できない天然型ホルモンのドーピングが主流となり、それこそイタチごっこの様相を呈しています。

今年東京都がオリンピック開催に再立候補し、この夏成立したスポーツ振興法には、国がアンチドーピングに取り組むと明記されました。2009年4月には東京都と日本アンチドーピング機構の要請によって、非営利財団法人である当研究所が設立され活動を開始しましたが、日本が得意とする糖鎖解析技術を駆使して、遺伝子組換え糖蛋白ホルモンとヒト生体内で分泌される糖蛋白ホルモンとを、糖鎖発現の種差に着目して識別する検査法開発プロジェクトは国際的にも認められ、'12年の国際研究費助成対象に選ばれました。これまでの総仕上げとして、海外への技術移転を通じてクリーンなスポーツの実現とフェアプレイの普及に貢献することを目指しています。

近況報告バトンタッチ ～秋山 寛享さんからのバトンタッチ

『研究漂流記』

生物科学科 島田 賢一

皆様こんにちは。理学部生物科学科4期の島田賢一です。この度、同じ生物科学科であり生体防御学講座で同期だった秋山寛享君より、近況報告バトンタッチを承りました。

私は2001年に理学部を卒業し、基礎生命科学研究科で修士・博士課程を修了した後2006年に渡米し、ロサンゼルスシダースサイナイメディカルセンターにてポストドク研究員として3年間研究に従事しておりました。2009年には同じ研究室で助教となり現在に至ります。英語もままならないまま、文化や価値観など、全てがまったく異なる複雑な人種の垣根の中でどうにか研究を続けて来られたのも、生体防御学講座で熊沢先生や滝本先生に厳しい薫陶を受けたお陰です。『若いときの苦労は買ってでもせよ』という言葉に胸に邁進して参りました。

今携わっている研究内容を簡単に紹介致しますと、細菌感染等が引き起こす様々な免疫疾患や炎症、動脈硬化等の慢性疾患への影響の分子機序について研究し、創薬の手がかりを模索しております。現在、免疫研究において最もホットなトピックの一つが“インフラマソーム”という複合体による炎症の惹起で、近年、そのインフラマソームが様々な炎症疾患並びに糖尿病などのメタボリックシンドロームにも関わっているという事が解ってきていたのですが、その基本的な分子メカニズムは解明されていないまま次なる応用研究や創薬研究に発展していかうとしていたところでした。そんな中私はその基本メカニズムを解明する事に成功し、学術的に大変重要な成果を上げることができました。今後はこの発見を基に、まったく違う角度から新たにトランスレショナルリサーチ（基礎研究と臨床の橋渡し）の実践に取り組んでいきたいと思っております。

研究に限らず、アメリカでは仕事以外にも様々なトラブルに悩まされることも少なくないですし、家族や友人とも中々会う事が出来ませんが、それでも留学して良か

ったと常々思います。科学は独りで進歩しません。必ず世界の“誰か”の手によって進められているという事を思い知らされます。海外に出て、外から見る日本がどれほど素晴らしい国なのか改めて気づくこともできました。世界を知るという経験ができたことは、今後も続く私の研究人生にとっても意義深かったと信じています。

私生活では、一昨年4月に結婚いたしました。写真は、久々の再会であったにも関わらず、私の結婚式のために足を運んでくれた生物科学科の同期と研究室の先輩と一緒に撮ったかけがえのない思い出の一枚です。改めて相模原で過ごした学生時代を懐かしく想います。もしもあの時、別の大学に進学していたら。もし卒業して企業に就職していたら。アメリカに留学するという選択肢がなければ。などと色々思い返すこともしばしばですが、北里大学という学び舎で皆と研究に勤しんだ経験はかけがえのないものでありました。その経験が糧となり、今までとこれからの自分が進む道筋を作っています。さて次のバトンを受けとってくれるのは、同じ研究室出身で現在もアカデミックの第一線で研究を続けている後輩の脇田大功君です。



同窓会から理学部へ
図書を寄贈致しました

同期会報告

「2008年卒SC同窓会」

11SC 桜井 誠・宇佐美 沙織

この度、11SC同窓会を開催致しましたのでこの場をお借りしてご報告させていただきます。

卒業して約3年半が経過した、2011年8月13日（土）に表参道「青山星のなる木」に総勢44名が集合し、学生時代に戻ったかのような楽しい一時を過ごすことができました。

お酒を片手にゲームをしたり、昔話や近況報告をした

りと、あっという間の2時間半でした。なかでも一番盛り上がったのは、現在の北里大学の様子や先生方からのメッセージを収録したDVD鑑賞でした！私達が通っていた頃とは大分様子が変わっているようで、みな驚いていました。今回幹事を務めさせて頂きましたが、開催するまでの約半年間は準備等大変でした。しかし、多くの方にご参加頂き、楽しかった～と言って頂き嬉しい限りです。また開催できたらいいなと思っております。

最後になりましたが、同窓会事務局にご協力して頂き有難うございました。

夏のいい思い出になりました！！11SC 万歳☆



集会援助手続

理学部同窓会会員集会援助をご利用ください

【集会責任者】

- (1) 集会援助申請書類の入手
(事務局に問合せ、又はHPからダウンロード)
① 会員管理システム利用申請書
② 集会援助金申請書
- (2) 申請書①に責任者3名の署名・捺印
- (3) 申請書①の提出（事務局へ持参、又は郵送）
- (4) 集会開催 ※
- (5) 申請書②および③訂正された会員データを提出
(事務局へ持参、または郵送)
- (6) 集会の様子を原稿にして同窓会にご連絡ください！（任意）

【理学部同窓会・事務局】

事務局の連絡先
〒252-0373 相模原市南区北里1-15-1
TEL/FAX 042-778-9032
E-mail rigaku-d@nifty.com
ホームページ
<http://homepage1.nifty.com/kusaa/>

本会理事会での承認

申請のあった名簿一覧と郵送用タックシールの作成・提供

②、③を確認後、集会援助金を助成
(案内状印刷・郵送費として、200人までの集会では¥200/人、201人から¥100/人)

※援助を受けられる集会

- ① 同期会
- ② 参加者の60%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会
- ③ 医療衛生学部同窓会会員と合同で開催し、参加者の30%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会

衛生学部石碑に同窓会が説明板を設置



今、相模原キャンパスでは、理学部校舎（S1号館）に隣接する駐車場に平成24年7月の竣工を目指して、東日本大震災の被災により平成27年度までの授業を相模原で行うための海洋生命科学部校舎の緊急建設工事が、平成22年8月に取り壊された一般教育棟（旧L1号館）跡地や教職員駐車場一帯に平成25年12月の竣工を目指して新病院の大規模な建設工事がそれぞれはじまっています。

ところで、現在医療衛生学部が使用している旧衛生学部校舎（A1号館）の前庭植栽の中に「衛生学部」と書かれた立派な石碑があるのをご存じでしょうか。これは昭和52年10月に衛生学部創立15周年を記念して設置されたものであり、昭和48年度卒業生の寄贈によるものです。なお、「衛生学部」の文字は第2代衛生学部長であられた故安斎博先生の書です。

衛生学部は、ご承知のように平成6年4月に設立された理学部と医療衛生学部へ改組され、平成9年3月を以て閉校となりました。病院だけでなく、相模原キャンパスの各建物は今後逐次建て替え予定で、相模原キャンパスでは旧L1号館の次に古いA1号館も当然その対象です。その際に衛生学部の石碑は過去のものとして撤去されてしまうかもしれません。

そこで理学部同窓会ならびに医療衛生学部同窓会は合同で、この石碑に説明板を設置し、この先、仮に石碑の位置を他に使用するような状況が生じた場合でも、石碑を撤去することなく別の場所に移転していただき、北里大学のルーツである衛生学部が存在したことを末永く明示したいとする思惑からです。

ちなみに説明板には次のように記載されています。

この石碑に名を残す衛生学部は、北里大学の第一開設学部です。本学部は、大学が創立された1962年（昭和37年）4月に白金キャンパスに設置され、1972年（昭和47年）4月よりこの地に移転されました。学部開設から35年間にわたった衛生学部の歴史は、1994年（平成6年）4月に改組された医療衛生学部と理学部へと継承されています。



寄贈

北里大学医療衛生学部同窓会
北里大学理学部同窓会

最後にこの説明板設置にあたり、ご尽力いただきました医療衛生学部事務室の皆さまならびに医療衛生学部同窓会の小林隆幸会長、秋田久直理事に深謝申し上げます。

旧一般教育部棟をデザインした「写真立て」について

北里大学同窓会において、平成22年11月に姿を消した旧一般教育部棟をデザインした写真立てを有償で頒布する企画が行われています。旧一般教育部棟は横から見ると北里の“北”の文字が見える独特の建物で、相模原キャンパスにおいて昭和43年4月より約42年間延べ60,000人が学んだとのこと。同窓生にとっては、大学入学時に一般教養を学んだ想い出深い校舎だと思います。この際に是非お求めください。購入ご希望の方は、北里大学同窓会に電話（03-3446-7309）でお問い合わせいただくか、同ホームページ（<http://kitasato-dousoukai.jp>）にて詳細をご確認ください。



理学部事務室より

理学部事務室学生係 花田 美峰

平成23年3月の震災により被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

理学部・理学研究科の在学生の中にも、実家が全壊や半壊したり、原発事故により避難を余儀なくされたり、保証人が仕事を失ったりするなど、様々な形で被害を受けた学生がおります。大学では、奨学金制度を設け、また同窓会をはじめとする関係者の皆様からの多大なご寄付による義援金をお送りし、被災した学生が安心して学業を継続できるようバックアップをしております。また、三陸キャンパスで被災した海洋生命科学部は、相模原キャンパスにて授業を再開いたしました。平成24年には、理学部S号館横に海洋生命科学部棟が建ち、本学部と隣同士で共に学ぶこととなる予定です。

次に、本学部の入試状況についてご報告申し上げます。この数年、志願者数は2,800名前後で推移していましたが、平成23年度入試では3,021名と前年比279名増（物理学科22名減、化学科247名増、生物科学科54名増）となりました。本学部では、より多くの高校生が、北里大学理学部で学ぶイメージを具体的に掴むことができる機会として、オープンレクチャー（化学科は年3回、物理学科・生物科学科は年2回）、年5回のオープンキャンパスにおける施設見学、模擬実習を実施しております。詳細は理学部ホームページに随時掲載しておりますのでご参照ください。

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援により、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。

せん。本学部では、1年次から就職テストを実施することにより早期に意識付けを行い、2年次では就活スタートアップガイダンス、3年次ではマナー講座や同窓会のご協力による模擬面接講座など、より実践的なプログラムを取り入れた就職ガイダンスを実施し、学生の就職活動を支援しております。また、大学院進学者が多いことも本学部の特徴です（過去5年間の進学者の割合：物理学科48%、化学科45%、生物科学科68%）。そこで、大学院進学者も学部生同様に就職ガイダンスを実施しております。

本学部は、前身の衛生学部が昭和37年に設置され、平成6年に理学部・医療衛生学部への改組を経て既に49年の歴史を持っており、多くのOB・OGの方々が社会で活躍されていることと存じます。同窓会の皆様方におかれましては、進学先としてのご紹介、就職先のご支援など、引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

相模原キャンパスは、大学新病院建設工事も始まっており、毎日少しずつ形を変えております。機会がございましたら、進化していく母校を是非お訪ねください。

なお、理学部入試の過去問題、パンフレット等の頒布を行っております。詳細は北里大学ホームページ（<http://www.kitasato-u.ac.jp/>）をご覧ください。

お問い合わせ先

理学部入試に関すること

TEL 042 (778) 9172 (入試係直通)

FAX 042 (778) 9953

就職に関すること

TEL 042 (778) 8545 (学生係直通)

FAX 042 (778) 9953

大学院入試に関すること（理学研究科入試係直通）

TEL 042 (778) 9083

FAX 042 (778) 9953

平成24年度 北里大学オープンキャンパス等日程

北里大学相模原キャンパスにおきまして、受験希望者や保護者を対象としたオープンキャンパス等を下記の日程で開催します。同窓会の皆様におかれましては、ご子弟、ご関係者の皆様にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

【オープンキャンパス】

○第1回

日時 平成24年7月21日(土)～22日(日) 10時～16時

*理学部体験入学を同時開催します。

実施内容 大学・学部概要説明、講演会、模擬講義、模擬実習、個別入試相談、シリーズ入試対策講座、施設見学、キャンパスツアー等

○第2回

日時 平成24年8月25日(土) 10時～16時

*理学部オープンレクチャーを同時開催します。

実施内容 大学・学部概要説明、講演会、模擬講義、模擬実習、個別入試相談、シリーズ入試対策講座、施設見学、キャンパスツアー等

【進学相談会】

○第1回

日時 平成24年9月 日程は未定

実施内容 大学・学部概要説明、シリーズ入試対策講座、個別相談、キャンパスツアー、在学生との懇談コーナー等

○第2回 ※北里祭期間中

日時 平成24年11月3日(土)～4日(日) 10時～16時

*理学部オープンレクチャーを同時開催します。

実施内容 大学・学部概要説明、シリーズ入試対策講座、個別入試相談、施設見学等

【大学説明会】

日時 平成25年3月16日(土) 12時～17時30分

*理学部オープンレクチャーを同時開催します。

実施内容 大学・学部概要説明、模擬実習、シリーズ入試対策講座、個別入試相談、施設見学、キャンパスツアー等

*実施内容は予定。

平成25年度 理学部入学試験日程

平成25年度（平成24年度実施）入学試験日程は以下のとおりとなっています。

理学部では、生命科学の基礎分野で研究力を身につけた人材を社会に送り出すことを使命とし、充実した教育・研究を実施しています。これらの使命をさらに発展させていくため、北里大学理学部の志を受け継いだ同窓生のご子弟の方々の入学をお待ちしております。

公募制推薦	募集人員	物理学科 3名 化学科 10名 生物科学科 10名		
	試験日	平成24年11月25日(日)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成24年11月1日(木)～平成24年11月16日(金)		
	合格発表日時	平成24年11月30日(金)13時		
一般	募集人員	物理学科 22名 化学科 55名 生物科学科 30名		
	試験日	平成25年2月3日(日)	試験場(3会場)	相模原キャンパス・大阪会場・福岡会場
	受付期間	平成24年12月14日(金)～平成25年1月25日(金)		
	合格発表日時	平成25年2月12日(火)13時		
センター試験利(前期)	募集人員	物理学科 8名 化学科 10名 生物科学科 15名		
	試験日	平成25年1月19日(土)・20日(日)		
	受付期間	平成24年12月14日(金)～平成25年1月18日(金)		
	合格発表日時	平成25年2月13日(水)13時		
センター試験併	募集人員	物理学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成25年2月14日(木)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成24年12月14日(金)～平成25年2月4日(月)		
	合格発表日時	平成25年2月20日(水)13時		
センター試験利(後期)	募集人員	物理学科 2名 化学科 5名 生物科学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成25年3月6日(水)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成25年2月8日(金)～平成25年2月27日(水)		
	合格発表日時	平成25年3月12日(火)13時		

【北里大学 就職センターからのお知らせ】

北里大学の求人につきましては、求人票は、すべての学部を一括として相模原キャンパスにあります就職センターで『就職システム』に入力しております。この『就職システム』は、学生や卒業生が自宅でも見ることができるシステムです。

北里大学の学生（新卒）を求人で欲しい方、卒業生で資格を持った方（既卒）を求めている方は、北里大学のホームページから求人票（様式）をコピーしていただき、北里大学就職センターまで、FAXまたはメール添付にてお送り下さい。

また、卒業生（既卒）で転職・就職を希望している方は、同じく北里大学のホームページから就職先を探すこともできます。

なお、『就職システム』に入る場合は、IDとパスワードが必要になります。

ご希望の方は、下記連絡先までご連絡下さい。

【北里大学 就職センター】

TEL 042-778-9745・9746・9747・7986

E-MAIL syusyoku@kitasato-u.ac.jp

年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動のために年会費の納入のご協力をお願いします。

年会費：3,000円 納入方法：郵便振替

(同封の振込用紙をご利用下さい。手数料は無料です。)

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。
年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。宜しく申し上げます。

訃報

北里大学名誉教授の田口文章先生が平成23年9月11日にご逝去されました。田口先生は、ジャイアントパンダの糞から分離したバクテリアを使用して生ゴミを分解、減量する研究に成功され、2009年のイグ・ノーベル生物学賞を受賞されました。

謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「理学部パンフレット同封について」

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

「会報への寄稿について」

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽に寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

「同窓会へのメールについて」

最近、迷惑メールが増加して参りました。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞

記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または
6HC 理学太郎

編集後記

東日本大震災及び震災に伴う原発事故に被災された皆様・ご家族・親戚等が被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。1日でも早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

同窓生の皆様こんにちは、衛生学部生物科学科4期生の秋本 護です。

北里大学理学部同窓会会報第15号をお届けいたします。理学部同窓会活動を中心に理学部の近況等をお知らせできればと会報スタッフ中心に理学部同窓会スタッフで作成致しました。一読頂ければ幸いです。

この会報を読まれたご感想・ご意見等がございましたら下記のアドレスまでメールでお寄せ下さい。今後の会報発行に参考にさせていただきます。

会報発行に際してお忙しいなかご寄稿頂きました皆様にはこの場にて御礼申し上げます。

理学部同窓会では記事を募集しております。同期会・クラス会等の開催の際は皆様の近況等を事務局までお寄せください。お待ちしております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

北里大学理学部同窓会報

発行 平成24年1月31日

発行者 北里大学理学部同窓会

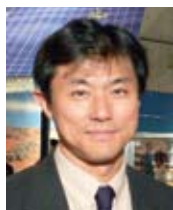
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032

E-mail: rigaku-d@nifty.com

責任者 沼上清彦

第43回北里大学同窓会講演会 演者プロフィール



● 阪本 成一 先生

宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 宇宙科学広報・普及主幹
宇宙科学情報解析研究系 教授

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了後、日本学術振興会特別研究員、国立天文台電波天文学研究系助手、同助教授をへて2007年4月より現職。専門は電波天文学、星間物理学。世界最小の電波望遠鏡の開発と、それを使った銀河系内の分子雲の研究によって学位を取得したのち、世界最大の電波望遠鏡であるアタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計（ALMA）計画の推進に携わった。現在は宇宙科学の広報・普及の取りまとめを行うとともに、講演、執筆、テレビ・ラジオへの出演等に精力的に取り組んでいる。



● 嶋田 和人 先生

宇宙航空研究開発機構
有人宇宙技術部 宇宙飛行士健康管理グループ 医長

筑波大学医学専門学群卒業、筑波大学博士課程修了、病院に勤務後、1993年NASDA（現在のJAXA）へ転籍、1996年オハイオ州医師免許取得、1997年米国航空宇宙専門医取得、計6年にわたりNASAジョンソン宇宙センターに駐在。航空宇宙医師の代表として日本人宇宙飛行士の健康管理を担当している。日本人飛行士の14飛行のうち8飛行の着陸の医学支援を行った。専門は耳鼻咽喉科、航空宇宙医学、潜水医学。



相模原営業所 042-778-6793

空港連絡バスのご案内 AIRPORT ACCESS BUS

ビジネスも観光も、座ってラクラク、快適アクセス。

区 間	片道運賃 ONE WAY		回数券 COUPON
	大人 ADULT	小児 CHILD	
羽田空港 ⇄ 相模大野駅 町田バスセンター	1,400円	700円	5,000円（1,400円×4枚綴り）

ご予約及び乗車券のお買い求めについて

羽田空港行きは予約制です。事前にご予約のうえご利用ください。
ご予約は2か月前9：00から前日19：00まで承っております。
乗車券は当日のりば係員または当社窓口にてお買い求めください。

ご予約は下記予約センターにて承っております。

神奈中高速バス予約センター TEL 0463-21-1212

（受付時間 9：00～19：00）

宇宙技術が私たちにもたらすもの

参加費
無料

日時：2012年2月26日(日)

14:00～16:00(13:30開場)

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野8階

定員100名 どなたでも参加できます
(先着順、定員になり次第締切)

ジュニアから大人までわかる
相模原市発の宇宙開発と
日本・世界の宇宙医学のお話！

講演①「宇宙に出てはじめてわかる地球」

～はやぶさが教えてくれたこと～

JAXA 宇宙科学研究所 宇宙科学情報解析研究系 教授 阪本成一 先生

講演②「宇宙で暮らすとは？」

～宇宙に長くいるとどうなるの？～

JAXA 有人宇宙技術部 宇宙飛行士健康管理グループ 医長 嶋田和人 先生



お問合せ

北里大学理学部同窓会事務局

電話番号：042-778-9032

E-mail : rigaku-d@nifty.com